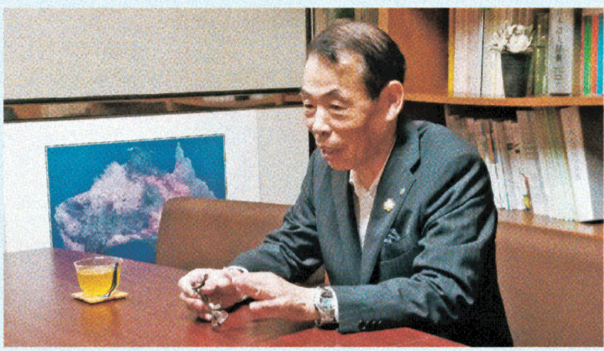


### 統合前後の中学生気質

私たちは、東中ができる前の八代中と吉田中の様子や、創立時の東中のことについて幸手市教育委員会教育長の山西実様にインタビューをしました。山西教育長は、統合前の吉田中に勤務していました。



Q.『統合する前の吉田中と八代中の生徒の様子は違ったか?』  
A.『吉田中と八代中はとも小規模な学校でした。しかし、一人一人が真面目で努力していました。また、運動部は必ず県大会へ行ってしまおうという実力がありました。壮行会の時は、ステージの上で県大会へ行く人と、下で応援する人は、ステージの方が多かった。まさに山椒の小粒でもヒリヒリと辛いという感じでした。』  
Q.『統合して新しく東中が誕生したときの様子はどうでしたか?』  
A.『山西教育長は、生徒は、新しい学校への期待と不安があり、不安の方が多かったのではないかと話していました。』  
『当時の東中には校舎と駐輪場しかありませんでした。体育館、武道館、校庭がなかった。部活動は、吉田中や吉田第一小、八代小の体育館などを借りて練習していました。また、当時は学校からキロ以内に住んでいる人は、歩いて学校へ通っていました。』

しかし、生徒達が遅い時間まで生徒評議会を中心とした学校生活づくりや、部活動を頑張りたいけど練習場所が遠いということもあり、(2キロ以内に住んでいる人でも)自転車を利用できるよう、各家庭から申請があれば自転車通学が可能になりました。』  
『開校時は制服が4種類あった。東中には吉田中、八代中、幸手中の制服と、東中の新しい制服があり、制服だけでも4種類ありました。』  
『面白話』  
第一回の入学式の時、アスファルトがなかったのに、真新しい白い靴を泥で汚さないようにと先生達が、工事現場にあったベニヤ板をもらってきて、校門から生徒玄関まで道を作りました。生徒達は、忍者的に足早に渡ったそうです。そして、初めての入学式は1階の技術室で行い、対面式は廊下で向き合っていました。東中を語る時に「東雲」という言葉を使います。太陽は東からということですが、教育は東中からという願いと希望から用いられています。(山田碧莉、野村希垂、村加伶央菜)

### 部活動

中学生にとって部活動は最大の興味関心になります。その部活動について調べてみると、四十年前は各学年の人数が多く12の部活がありました。

かつてあったソフトボール部の部活動の様子



かつてあったソフトボール部の様子



現在の剣道部の様子

各部活独自の活動に誇りを持ち大会やコンクール、検定などに向けて日々活動に励んでいます。

### 歴史ある剣道部

四十年前あった部活の中に、剣道部があります。剣道部は教

育委員会教育長の山西実先生が東中で顧問を務められていました。私の母が東中剣道部出身のため話を聞いたところ「稽古内容がとても辛かったです。大会で数々の成績を残したのも稽古を頑張ったからなのだと思います。そして幸手中中といった剣道部が強いと評判だったそうです。歴代の剣道部が残した成績は校長室前と職



善道部



郷土部

員室前のショーケースに飾られています。(東中に来た際はぜひご覧ください)多くの部活動の成績が残っています。そんな歴代の先輩方のおかげで日々努力していきま

(山田碧莉、野村希垂、村加伶央菜)

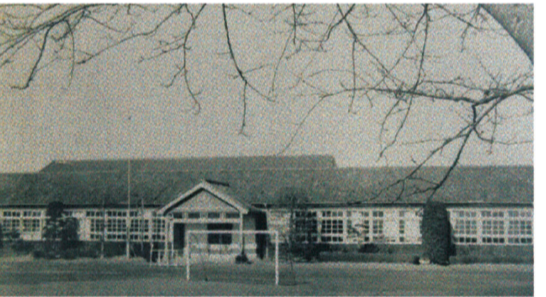
### 学校の歩み

東中学校の第一歩は「校服」の制定でした。昭和53年4月1日から7日まで、大変な忙しさを、学校の灯りが消えることがないほどだったそうです。4月8日の始業式は2年98名、3年102名で、初めての入学式は4月10日に挙行され98名を迎えました。校舎が設立されたのが7月14日、校舎が本格化しました。



章制定が7月19日、生徒と先生がつくり上げようとする力がみなぎっていたそうです。校旗・校歌は翌年の2月10日、開校式で昭和56年2月に、陶芸の授業が本格化しました。

八代中学校  
平成4年にコンピュータ室、平成6年にプールが完成しました。平成19年に校舎耐震補強工事が終了し、現在に至っています。  
広い敷地で、のびのびと授業に取り組む、青春の今を、この東中で最大限輝かせたいと思います。(後上真希歩、小竹遥香、清水菜歩)



吉田中学校

発行元 読売センター幸手グループ 株式会社高読  
YC幸手 YC幸手西 YC幸手東

「学校新聞お知らせ」  
次号は幸手市立権現堂川小学校の学校新聞を発行します。  
発行日は11月12日(日)です。」



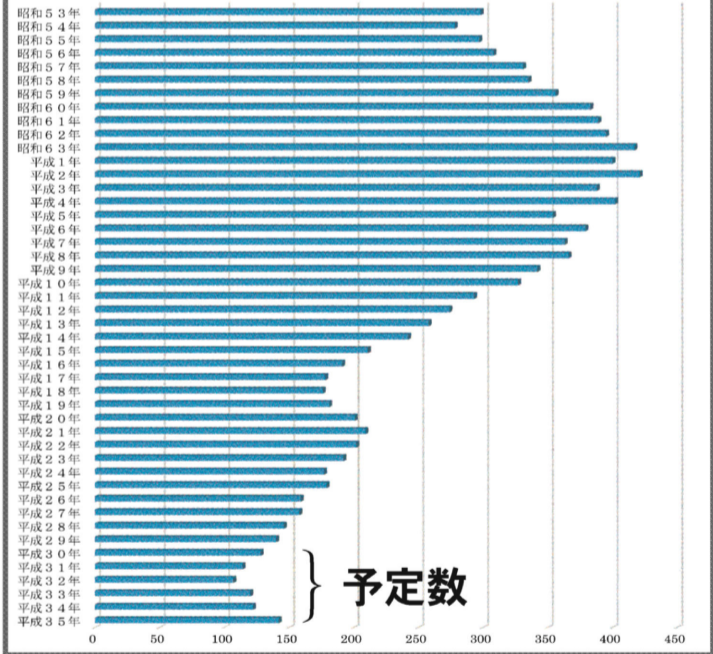
編集会議の様子

### 40年の生徒数の変化

私は四十年間の東中中学校の生徒数の変化と教員数の変化について調べました。東中中学校が開校した当初の昭和五十三年は生徒数二百九十八人、教員数二十一人です。それから生徒数は十二年間増え続け、平成二年には、四百二十一人と一番多く、三十八人でした。

それから生徒数は減り続けて、平成二年から十四年後には、百九十一人と、初めて東中中学校で百人台に達しました。教員数も少しずつ減り続けて、二十三人へとなりました。さらに、生徒数は平成二十二年、二十二年は、どうにか百人台に達しましたが、その後減少し、今年には百四十人と減り続けています。(高橋佳太、西塚琉伽)

東中生徒数推移



予定数

子どもの?が、輝く未来に変わる。

読売DoMo新聞

月額500円(税込み) ワンコイン

お気軽に読める週1回 毎週木曜日発行

お子さまに聞かれて、答えられなくて困った!という経験はありませんか? 複雑で難解な世の中の動きを、短くわかりやすい文章で解説します。イラストや図表を効果的に載せているので、親子で一緒に理解を深めていただけます。

新聞に「かんたん」も

読売センター幸手グループ(YC幸手・YC幸手西・YC幸手東)では今年度の4月、幸手市内の小中学校12校に新聞閲覧台を寄贈しました。また、幸手中央図書館から小学校に「読売KODOMO新聞」を寄贈しました。

読売KODOMO新聞は、「読売」がそれぞれ提供されています。幸手市立東中中学校内には、図書室に新聞閲覧台を設置しています。台の上には、読売新聞をはじめ、各種新聞が広げられた状態で置かれています。

新聞をきちんと読めば、読

みやすくすることで、興味を持つきっかけとなります。同校では図書室の中央付近という目立つ場所に設置しているため、図書室に寄る生徒達が実際に新聞を読んでいるとのこと。